



2026年5月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年12月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社クスリのアオキホールディングス
コード番号 3549 U R L <http://www.kusuri-aoki-hd.co.jp/>

代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 青木宏憲
問合せ先責任者 （役職名） 取締役管理部門担当 （氏名） 八幡亮一

T E L 076-274-6115

半期報告書提出予定日 2025年12月25日 配当支払開始予定日 2026年1月23日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年5月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年5月21日～2025年11月20日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期中間期	279,808	15.2	13,494	6.7	13,607	5.4	9,639	11.8
2025年5月期中間期	242,826	12.6	12,651	85.5	12,911	84.9	8,622	151.9

（注）包括利益 2026年5月期中間期 10,851百万円（30.7%） 2025年5月期中間期 8,304百万円（120.2%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期中間期	97.71	—
2025年5月期中間期	86.39	85.25

（注）1. 2026年5月期第2四半期における潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 2020年1月9日開催の取締役会で決議しました新株予約権の行使に係る業績条件を満たしたことから、2025年5月期第2四半期には株式報酬費用392百万円を計上しておりますが、2026年5月期第2四半期には計上しておりません。

（参考）株式報酬費用を除いた2026年5月期第2四半期の業績の対前年同四半期増減率は、営業利益3.5%増、経常利益2.3%増、親会社株主に帰属する中間純利益6.9%増です。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年5月期中間期	385,792	133,203	34.5
2025年5月期	352,464	145,759	41.4

（参考）自己資本 2026年5月期中間期 133,203百万円 2025年5月期 145,759百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年5月期	円 銭 —	円 銭 7.00	円 銭 —	円 銭 7.00	円 銭 14.00
2026年5月期	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 —	円 銭 48.00	円 銭 56.00
2026年5月期（予想）					

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2026年5月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 記念配当40円00銭（設立40周年記念配当）

配当予想の修正については、本日（2025年12月25日）公表いたしました「配当予想の修正（設立40周年記念配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年5月21日～2026年5月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	560,000	11.7	23,000	△13.5	22,700	△17.5	15,500	△12.9

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(参考)株式報酬費用を除いた通期連結業績予想の対前年増減率は、営業利益14.8%減、経常利益18.7%減、親会社株主に帰属する当期純利益14.7%減です。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年5月期中間期	95,616,980株	2025年5月期	105,097,680株
② 期末自己株式数	2026年5月期中間期	355,313株	2025年5月期	3,994,689株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年5月期中間期	98,645,937株	2025年5月期中間期	99,808,480株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況.....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況.....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
3. 補足情報	10

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2025年5月21日～2025年11月20日）のわが国の経済情勢は、人手不足などを背景とした賃上げの動きが継続しておりますが、物価上昇の傾向も続くなか、賞与支給月を除き実質賃金は前年比マイナス傾向で推移しており消費環境は厳しい状況にありました。また、長期化する米中対立や中東情勢の緊迫化による資源価格の高騰、さらに米国による追加関税などにより、依然として先行きの不透明な経済環境が続いております。

ドラッグストア業界におきましては、夏場の猛暑による季節品の需要増加やインバウンド需要の継続によって、一部のカテゴリーで販売が好調に推移しました。しかしながら、異業種からの新規参入を含めた競争は激化しており、集客のための価格競争や、利便性を追求した多様なサービス展開が求められるなど、当社を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは地域の皆様から愛される店舗づくりを目指し、お客様の利便性向上と専門性の強化に努めてまいりました。調剤併設率の向上に加え、生鮮食品を含めたフードカテゴリーの拡充をさらに進めることで、「フード＆ドラッグ」によるワンストップショッピングが可能な店舗形態への転換を加速しております。

店舗の新設につきましては、ドラッグストアを北信越に7店舗、東北に7店舗、関東に12店舗、東海に8店舗、関西に10店舗、四国に10店舗の合計54店舗を出店し、さらなるドミナント化を推進しました。また、ドラッグストア併設調剤薬局を北信越に3薬局、東北に4薬局、関東に15薬局、東海に4薬局、関西に3薬局、四国に1薬局の合計30薬局を新規に開設いたしました。

一方、ドラッグストア1店舗を閉店し併設調剤薬局7薬局を閉局いたしました。

なお、2025年6月2日付で、食品スーパーを展開する株式会社ミワ商店（香川県）の全株式を取得し、連結子会社にしております。

これにより、当中間連結会計期間末の当社グループの店舗数は、ドラッグストア1,057店舗（うち調剤薬局併設687店舗）、調剤専門薬局6店舗、スーパー・マーケット19店舗の合計1,082店舗となっております。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高2,798億8百万円（前年同期比15.2%増）、営業利益134億94百万円（同6.7%増）、経常利益136億7百万円（同5.4%増）、親会社株主に帰属する中間純利益96億39百万円（同11.8%増）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の資産合計は3,857億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ333億27百万円増加いたしました。主な増加要因は、現金及び預金の増加102億67百万円、建物及び構築物の増加99億88百万円、商品の増加54億37百万円によるものであります。

負債合計は、2,525億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ458億83百万円増加いたしました。主な増加要因は、長期借入金の増加325億69百万円によるものであります。

純資産合計は1,332億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ125億56百万円減少いたしました。また、自己資本比率は34.5%となっております。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の中間期末残高は102億67百万円増加し、579億98百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、178億53百万円の資金増加（前中間連結会計期間は112億10百万円の資金増加）となりました。主な増加要因は、税金等調整前中間純利益135億4百万円、減価償却費68億27百万円等であり、主な減少要因は、棚卸資産の増加52億61百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、183億80百万円の資金減少（前中間連結会計期間は108億89百万円の資金減少）となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出150億65百万円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、107億94百万円の資金増加（前中間連結会計期間は277億43百万円の資金増加）となりました。主な増加要因は、長期借入による収入465億50百万円等であり、主な減少要因は、自己株式の取得による支出227億円、長期借入金の返済による支出110億12百万円等であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月3日に公表しました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月20日)	当中間連結会計期間 (2025年11月20日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	47,731	57,998
売掛金	21,573	24,492
商品	56,811	62,248
未収入金	18,742	15,022
その他	570	798
貸倒引当金	△61	△61
流动資産合計	145,368	160,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	132,363	142,351
機械装置及び運搬具（純額）	7,643	7,826
土地	8,980	9,137
リース資産（純額）	6,710	8,269
建設仮勘定	7,190	8,926
その他（純額）	5,991	6,954
有形固定資産合計	168,879	183,465
無形固定資産		
のれん	10,107	11,807
その他	3,572	4,111
無形固定資産合計	13,679	15,918
投資その他の資産		
投資有価証券	3,747	5,530
敷金及び保証金	9,703	10,093
繰延税金資産	5,531	4,397
その他	5,565	5,897
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	24,537	25,908
固定資産合計	207,096	225,292
資産合計	352,464	385,792

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年5月20日)	当中間連結会計期間 (2025年11月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,602	68,494
短期借入金	—	150
1年内返済予定の長期借入金	14,912	19,844
未払金	11,470	16,454
未払法人税等	5,177	3,497
契約負債	2,637	2,521
賞与引当金	1,994	83
ポイント引当金	35	33
災害損失引当金	5	5
店舗閉鎖損失引当金	622	573
その他	6,591	6,766
流動負債合計	107,049	118,425
固定負債		
長期借入金	78,317	110,886
リース債務	6,090	7,259
役員退職慰労引当金	280	509
退職給付に係る負債	22	—
資産除去債務	14,420	15,023
その他	524	484
固定負債合計	99,655	134,163
負債合計	206,705	252,589
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,749	16,749
資本剰余金	17,748	17,304
利益剰余金	123,013	98,323
自己株式	△12,746	△1,381
株主資本合計	144,765	130,996
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	993	2,206
その他の包括利益累計額合計	993	2,206
純資産合計	145,759	133,203
負債純資産合計	352,464	385,792

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年5月21日 至 2024年11月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年5月21日 至 2025年11月20日)
売上高	242,826	279,808
売上原価	178,469	206,144
売上総利益	64,356	73,664
販売費及び一般管理費	51,704	60,169
営業利益	12,651	13,494
営業外収益		
受取利息	25	114
受取配当金	52	52
受取手数料	154	172
賃貸収入	224	328
補助金収入	86	20
固定資産受贈益	3	17
その他	251	257
営業外収益合計	798	964
営業外費用		
支払利息	294	562
賃貸収入原価	75	83
その他	167	205
営業外費用合計	538	851
経常利益	12,911	13,607
特別利益		
固定資産売却益	1	6
投資有価証券売却益	—	15
特別利益合計	1	21
特別損失		
固定資産売却損	5	—
固定資産除却損	16	17
減損損失	3	107
投資有価証券評価損	19	—
退職給付制度終了損	83	—
特別損失合計	128	124
税金等調整前中間純利益	12,784	13,504
法人税、住民税及び事業税	4,161	3,287
法人税等調整額	0	577
法人税等合計	4,161	3,865
中間純利益	8,622	9,639
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	8,622	9,639

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年5月21日 至 2024年11月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年5月21日 至 2025年11月20日)
中間純利益	8,622	9,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△318	1,212
その他の包括利益合計	△318	1,212
中間包括利益	8,304	10,851
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	8,304	10,851
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年5月21日 至 2024年11月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年5月21日 至 2025年11月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	12,784	13,504
減価償却費	5,975	6,827
のれん償却額	273	621
株式報酬費用	392	—
減損損失	3	107
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	△6	△48
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,937	△1,919
貸倒引当金の増減額（△は減少）	0	△0
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	9	△80
災害損失引当金の増減額（△は減少）	△108	—
契約負債の増減（△は減少）	140	△122
ポイント引当金の増減額（△は減少）	7	△1
固定資産除却損	16	17
固定資産売却損	5	—
固定資産売却益	△1	△6
受取利息及び受取配当金	△77	△166
支払利息	294	562
売上債権の増減額（△は増加）	△7,056	△2,784
棚卸資産の増減額（△は増加）	△4,404	△5,261
仕入債務の増減額（△は減少）	5,169	4,564
その他	3,955	7,337
小計	15,437	23,151
利息及び配当金の受取額	55	144
利息の支払額	△297	△529
法人税等の支払額	△4,074	△4,913
法人税等の還付額	88	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,210	17,853
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	150	—
投資有価証券の取得による支出	△36	△0
有形固定資産の取得による支出	△8,575	△15,065
有形固定資産の売却による収入	54	6
無形固定資産の取得による支出	△268	△666
敷金及び保証金の差入による支出	△469	△499
敷金及び保証金の回収による収入	614	130
長期貸付けによる支出	△41	△37
長期貸付金の回収による収入	33	10
建設協力金の支払による支出	△274	△373
建設協力金の回収による収入	1	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,372	△1,725
事業譲受による支出	△1,573	—
その他	868	△160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,889	△18,380

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年5月21日 至 2024年11月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年5月21日 至 2025年11月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△5,500	50
長期借入れによる収入	25,439	46,550
長期借入金の返済による支出	△11,805	△11,012
リース債務の返済による支出	△1,211	△1,379
自己株式の取得による支出	△1,110	△22,700
新株予約権の行使による株式の発行による収入	23,908	—
社債の償還による支出	△1,455	—
配当金の支払額	△521	△712
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,743	10,794
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	28,063	10,267
現金及び現金同等物の期首残高	48,974	47,731
現金及び現金同等物の中間期末残高	77,038	57,998

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループは医薬品・化粧品・日用雑貨・食品、調剤薬局等の近隣型小売事業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当中間連結会計期間において、当社は、2024年10月3日開催の取締役会決議に基づき、自己株式530,700株の取得を行い、当中間連結会計期間において自己株式が1,869百万円増加しております。また、2025年7月3日開催の取締役会決議に基づき、自己株式5,310,600株の取得を行い、当中間連結会計期間において自己株式が20,830百万円増加しております。

さらに、2025年11月6日の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき自己株式の消却を決議し、2025年11月20日付で自己株式を9,480,700株、34,066百万円消却いたしました。なお、自己株式の消却により、その他資本剰余金の残高が負の値となったため、その他資本剰余金を零とし、当該負の値をその他利益剰余金から減額しております。

これらの結果、当中間連結会計期間末において、資本剰余金が17,304百万円、利益剰余金が98,323百万円、自己株式が1,381百万円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

3. 補足情報

当社グループは、医薬品・化粧品・日用雑貨・食品、調剤薬局等の近隣型小売事業という単一セグメントであるため、仕入実績は商品部門別に、販売実績は商品部門別及び地域別に記載しております。

① 仕入実績

当中間連結会計期間及び前中間連結会計期間の仕入実績を商品部門別に示すと、次のとおりであります。

区分	前中間連結会計期間 (自 2024年5月21日 至 2024年11月20日)		当中間連結会計期間 (自 2025年5月21日 至 2025年11月20日)		前期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ヘルス	13,355	7.3	13,288	6.2	99.5
ビューティ	21,306	11.6	22,177	10.4	104.1
ライフ	34,318	18.6	37,062	17.4	108.0
フード	98,854	53.6	120,962	56.9	122.4
調剤	16,374	8.9	19,298	9.1	117.9
合計	184,209	100.0	212,787	100.0	115.5

(注) 1. 上記の金額は、物流益等（店舗への直送受託収入から直送委託費用を控除した物流益及び発注にかかるデータ収入）を控除しておりません。

2. ヘルス、ビューティ、ライフ、調剤の主な取扱品目は以下のとおりであります。

ヘルス …医薬品、ビタミンサプリメントやダイエットサプリメント等の健康食品、救急用品や健康管理用品等の医療用品

ビューティ…カウンセリング化粧品、洗顔料等のフェイスケア商品、ボディソープ等のボディケア商品、シャンプー等のヘアケア商品、歯磨等のオーラルケア商品

ライフ …オムツ等のベビー関連商品、介護用品、生理用品、洗剤、家庭用品、ペットフード、靴下や肌着等の衣料用品、家電用品

フード …加工食品、日配食品、生鮮食品、調味料、菓子、飲料、酒等の食品

調剤 …薬局にて処方する医療用医薬品等

② 販売実績

当中間連結会計期間及び前中間連結会計期間の販売実績を商品部門別に示すと、次のとおりであります。

区分	前中間連結会計期間 (自 2024年5月21日 至 2024年11月20日)		当中間連結会計期間 (自 2025年5月21日 至 2025年11月20日)		前期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ヘルス	21,225	8.7	22,438	8.0	105.7
ビューティ	30,563	12.6	32,538	11.6	106.5
ライフ	44,593	18.4	48,075	17.2	107.8
フード	121,382	50.0	147,785	52.8	121.8
調剤	25,061	10.3	28,970	10.4	115.6
合計	242,826	100.0	279,808	100.0	115.2

③ 地域別販売実績

当中間連結会計期間及び前中間連結会計期間の販売実績を地域別に示すと、次のとおりであります。

区分	前中間連結会計期間 (自 2024年5月21日 至 2024年11月20日)		当中間連結会計期間 (自 2025年5月21日 至 2025年11月20日)		
	店舗数 (店)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
北信越	394	105,342	43.4	113,371	40.5
東北	88	16,940	7.0	23,190	8.3
関東	290	57,265	23.6	65,733	23.5
東海	187	39,942	16.4	44,404	15.9
関西	97	19,229	7.9	24,941	8.9
四国	26	4,105	1.7	8,168	2.9
合計	1,082	242,826	100.0	279,808	100.0

(注) 店舗数は当中間連結会計期間末現在のものであります。